

【総括表】

大館市公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(学校教育系施設)

1 計画期間 平成30年4月1日から令和14年3月31日まで
計画見直し予定年度(令和3年度、令和8年度)

2 対象施設 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	
			存続	機能維持のための修繕を実施
110	大館市立桂城小学校	水門町	存続	機能維持のための修繕を実施
111	大館市立城南小学校	桜町	存続	機能維持のための修繕を実施
112	大館市立城西小学校	城西町	存続	機能維持のための修繕を実施
113	大館市立有浦小学校	有浦四丁目	存続	機能維持のための修繕を実施
114	大館市立釈迦内小学校	釈迦内字相染台	存続	機能維持のための修繕を実施
115	大館市立長木小学校	上代野字八幡岱	存続	機能維持のための修繕を実施
116	大館市立川口小学校	川口字隼人岱	存続	機能維持のための修繕を実施
117	大館市立上川沿小学校	餌釣字前田	存続	機能維持のための修繕を実施
118	大館市立南小学校	下川原字向野	存続	機能維持のための修繕を実施
119	大館市立成章小学校	十二所字大平	存続	機能維持のための修繕を実施
120	大館市立花岡小学校	花岡町字根井下	存続	機能維持のための修繕を実施
121	大館市立矢立小学校	白沢字白沢	存続	機能維持のための修繕を実施
122	大館市立扇田小学校	比内町扇田字白砂	存続	機能維持のための修繕を実施
123	大館市立西館小学校	比内町笹館字前田野	存続	機能維持のための修繕を実施
124	大館市立東館小学校	比内町独鉆字独鉆	存続	機能維持のための修繕を実施
125	大館市立早口小学校	長坂字坂地岱	存続	機能維持のための修繕を実施
126	大館市立山瀬小学校	岩瀬字上軽石野	存続	機能維持のための修繕を実施
127	大館市立第一中学校	北神明町	存続	機能維持のための修繕を実施
128	大館市立北陽中学校	釈迦内字長者森	存続	機能維持のための修繕を実施
129	大館市立東中学校	有浦五丁目	存続	機能維持のための修繕を実施
130	大館市立下川沿中学校	川口字隼人岱	存続	機能維持のための修繕を実施
131	大館市立南中学校	二井田字小石台	存続	機能維持のための修繕を実施
132	大館市立成章中学校	猿間字中谷地	存続	機能維持のための修繕を実施
133	大館市立比内中学校	比内町扇田字新館野中岱	存続	機能維持のための修繕を実施
134	大館市立田代中学校	岩瀬字下軽石野	存続	機能維持のための修繕を実施
135	大館市城西地区学校給食センター	北神明町	存続	機能維持のための修繕を実施
136	大館市北地区学校給食センター	釈迦内字上大留	存続	機能維持のための修繕を実施
137	大館市西地区学校給食センター	川口字隼人岱	存続	機能維持のための修繕を実施
138	大館市成章学校給食センター	十二所字大平	存続	機能維持のための修繕を実施

	施設名	所在地	基本的な方針	
139	大館市比内学校給食センター	比内町扇田字新館野中位	存続	機能維持のための修繕を実施
140	大館市田代学校給食センター	岩瀬字下軽石野	存続	機能維持のための修繕を実施

3 施設管理に関する基本的な方針

- ・小・中学校については、安全で魅力ある教育環境の維持・確保を図るため、機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図る。
- ・学校給食センターについては、安全な学校給食を提供していくため、施設機能の保全に努めながら、適正な維持管理を図る。
- ・学校教育系施設は、平成30年度以降に策定される「学校教育環境適正化計画」に基づき、本計画の基本方針等の見直しを行う。

作成日：平成30年3月13日

変更：令和 5年3月20日

【個別票】

所管課

教育委員会学校教育課

1 施設の概要

施設名称	大館市立桂城小学校	施設面積	6,639.76 m ²
所在地	大館市 水門町1番12号	建設年	昭和 46 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎・体育館耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 耐用年数に到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、数年で耐用年数に到達することから、老朽化への対応が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03	トイレ洋式化工事	13,530	(実績額)
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,421	1,219	5,804	
運用コスト	6,102	7,761	9,375	
修繕コスト	289	732	288	
その他	213	212	91	
(合計)	8,025	9,924	15,558	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	243	239	237	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和 5年3月20日

【個別票】

所管課

教育委員会学校教育課

1 施設の概要

施設名称	大館市立城南小学校	施設面積	6,871.97 m ²
所在地	大館市 字桜町9番地	建設年	昭和 43 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 3 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎・体育館耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ハード面での改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 耐用年数に到達しているが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数

【 今後15年以上使用

】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数に達していることから、老朽化への対応が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03	トイレ洋式化工事	13,473	(実績額)
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,362	1,098	4,816	
運用コスト	7,828	9,082	10,405	
修繕コスト	405	1,392	283	
その他	178	178	92	
(合計)	9,773	11,750	15,596	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	350	355	341	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立城西小学校	施設面積	6,339.32 m ²
所在地	大館市 城西町8番1号	建設年	平成 15 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名	大館市城西児童センター	構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>建築後 20 年以内の新しい校舎であるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成 30 年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後 15 年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後 15 年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

- ・現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、突発的な修繕等が必要となる可能性がある。
- ・プールが老朽化しているため、修繕等の対応が難しい場合、シーズン中の活用が出来なくなる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。
- ・プールの修繕等の対応が難しくなった場合、近郊の学校の活用を検討する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08	トイレ洋式化工事	2,489	
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	2,654	1,576	1,831	
運用コスト	4,625	8,296	10,320	
修繕コスト	72	243	310	
その他	199	302	184	
(合計)	7,550	10,417	12,645	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	311	298	292	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和 5年3月20日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立有浦小学校	施設面積	6,682.70 m ²
所在地	大館市 有浦四丁目6番55号	建設年	昭和 53 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎・体育館耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 耐用年数まで10年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

- ・現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数に10年程で到達することから、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。
- ・プールが老朽化しているため、修繕等の対応が難しい場合、シーズン中の活用が出来なくなる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。
- ・プールの修繕等の対応が難しくなった場合、近郊の学校の活用を検討する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04	トイレ洋式化工事	17,160	校舎
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		17,160	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,049	896	1,281	
運用コスト	5,686	7,457	9,530	
修繕コスト	367	466	1,401	
その他	242	175	153	
(合計)	7,344	8,994	12,365	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	508	510	505	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立釈迦内小学校	施設面積	7,070.02 m ²
所在地	大館市 釈迦内字相染台24番地	建設年	昭和 62 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 耐用年数まで15年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、年数の経過とともに、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03	管理棟ピロティ屋根葺替	9,775	
R04			
R05	トイレ洋式化工事	7,466	校舎
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		17,241	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	3,252	3,215	3,377	
運用コスト	3,515	5,305	7,452	
修繕コスト	1,522	467	863	
その他	123	219	110	
(合計)	8,412	9,206	11,802	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	254	241	238	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立長木小学校	施設面積	4,360.30 m ²
所在地	大館市 上代野字八幡岱45番地	建設年	昭和 55 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数まで10年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

建築後38年が経過していることから、建物の躯体や設備等の経年劣化に対する対応や突発的な修繕等が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01	管理棟他屋上防水改修工事	26,694	
R02			
R03			
R04			
R05			
R06	トイレ洋式化工事	13,272	校舎
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		39,966	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	634	510	522	
運用コスト	4,812	6,065	6,888	
修繕コスト	634	510	522	
その他	187	176	84	
(合計)	6,267	7,261	8,016	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	154	143	141	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立川口小学校	施設面積	4,924.51 m ²
所在地	大館市 川口字隼人岱108番地68	建設年	昭和 60 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数まで15年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

--

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、年数の経過とともに、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

--

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03	プール改修	24,931	
R04			
R05			
R06	トイレ洋式化工事	15,761	校舎
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		40,692	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	979	1,454	956	
運用コスト	415	1,438	590	
修繕コスト	544	451	484	
その他	106	201	96	
(合計)	2,044	3,544	2,126	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	118	111	92	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立上川沿小学校	施設面積	4,326.92 m ²
所在地	大館市 餌釣字前田75番地	建設年	平成 10 年 (耐用年数 22 年)
複合施設名		構造・階数	木造 2 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、クラブハウス、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>建築後 20 年程の新しい校舎であるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後 15 年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後 15 年以上の使用を目標とする。

--

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、年数の経過とともに、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

--

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08	トイレ洋式化工事	9,954	校舎
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,709	2,016	1,795	
運用コスト	7,713	8,191	9,948	
修繕コスト	397	178	127	
その他	501	601	508	
(合計)	10,320	10,986	12,378	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	164	159	160	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立南小学校	施設面積	4,751.66 m ²
所在地	大館市 下川原字向野6番地	建設年	昭和 50 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 3 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 耐用年数まで数年で到達するが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数に数年で達することから、老朽化への対応が必要となる。 ・プールが老朽化しているため、修繕等の対応が難しい場合、シーズン中の活用が出来なくなる可能性がある。
--

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。
- ・プールの修繕等の対応が難しくなった場合、近郊の学校の活用を検討する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	898	766	1,055	
運用コスト	2,163	3,343	6,245	
修繕コスト	486	527	169	
その他	195	210	78	
(合計)	3,742	4,846	7,547	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	142	132	118	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立成章小学校	施設面積	5,254.25 m ²
所在地	大館市 十二所字大平190番地	建設年	平成 4 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数まで20年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、年数の経過とともに、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	2,280	2,062	2,316	
運用コスト	3,972	5,088	4,687	
修繕コスト	281	380	834	
その他	119	220	181	
(合計)	6,652	7,750	8,018	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	84	79	73	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課

教育委員会学校教育課

1 施設の概要

施設名称	大館市立花岡小学校	施設面積	3,909.82 m ²
所在地	大館市 花岡町字根井下22番地	建設年	昭和 57 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 昭和 57 年に建築されたが、平成 20 年に一部改築しており、旧校舎は耐用年数まで 10 年程で到達する。今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。		

集約・複合化の検討について

公民連携の検討について

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後 15 年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後 15 年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、昭和 57 年築の校舎は 10 年程で耐用年数に達することから、老朽化による修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	2,130	2,073	918	
運用コスト	2,119	2,497	4,091	
修繕コスト	409	380	458	
その他	150	209	112	
(合計)	4,808	5,159	5,579	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	91	78	68	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立矢立小学校	施設面積	3,702.31 m ²
所在地	大館市 白沢字白沢1149番地	建設年	平成 1 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造4階ほか
特記事項	避難所指定(二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数まで20年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、年数の経過とともに、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	2,469	2,463	2,623	
運用コスト	2,478	3,028	3,697	
修繕コスト	71	401	80	
その他	87	172	74	
(合計)	5,105	6,064	6,474	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	39	37	30	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立扇田小学校	施設面積	5,745.68 m ²
所在地	大館市 比内町扇田字白砂131番地	建設年	平成 12 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 2 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>建築後 20 年以内の新しい校舎であるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成 30 年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後 15 年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後 15 年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、年数の経過とともに、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。
--

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08	トイレ洋式化工事	9,954	校舎
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,318	1,201	1,017	
運用コスト	6,913	6,797	10,073	
修繕コスト	203	881	151	
その他	292	314	267	
(合計)	8,726	9,193	11,508	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	182	169	177	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立西館小学校	施設面積	5,429.00 m ²
所在地	大館市 比内町笹館字前田野77番地	建設年	昭和 61 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 3 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数まで15年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、年数の経過とともに、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03	体育館屋根改修工事	12,877	
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,271	1,153	1,399	
運用コスト	2,392	3,705	6,265	
修繕コスト	873	664	1,386	
その他	209	238	111	
(合計)	4,745	5,760	9,161	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	120	120	102	

【個別票】

所管課

教育委員会学校教育課

1 施設の概要

施設名称	大館市立東館小学校	施設面積	3,140.69 m ²
所在地	大館市 比内町独鈷字独鈷90番地1	建設年	昭和 54 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 3 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 耐用年数まで10年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数に10年程で達することから、老朽化への対応が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	992	837	1,042	
運用コスト	2,619	2,638	6,298	
修繕コスト	606	717	334	
その他	217	726	666	
(合計)	4,434	4,918	8,340	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	91	82	80	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立早口小学校	施設面積	3,900.98 m ²
所在地	大館市 長坂字坂地岱12番地	建設年	昭和 53 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数まで10年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数に10年程で達することから、老朽化への対応が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	プールろ過機更新工事	9,000	
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		9,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,032	1,059	1,047	
運用コスト	2,555	3,390	4,359	
修繕コスト	393	254	555	
その他	118	164	168	
(合計)	4,098	4,867	6,129	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	100	93	81	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立山瀬小学校	施設面積	3,801.04 m ²
所在地	大館市 岩瀬字上軽石野39番地18	建設年	昭和 38 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 2 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数に到達しているが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状小学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数に到達していることから、老朽化への対応が必要となる。 ・プールが老朽化しているため、修繕等の対応が難しい場合、シーズン中の活用が出来なくなる可能性がある。
--

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、小学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。
- ・プールの修繕等の対応が難しくなった場合、近郊の学校の活用を検討する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05	トイレ洋式化工事	8,295	校舎
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	880	664	884	
運用コスト	2,778	3,991	5,665	
修繕コスト	337	316	154	
その他	127	154	54	
(合計)	4,122	5,125	6,757	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
児童数	145	133	133	

【個別票】

所管課

教育委員会学校教育課

1 施設の概要

施設名称	大館市立第一中学校	施設面積	11,542.38 m ²
所在地	大館市 北神明町10番1号	建設年	昭和 53 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 耐用年数まで10年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状中学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

--

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数に10年程で達することから、老朽化への対応が必要となる。

--

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、中学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	プールろ過機更新工事	8,500	
R01			
R02			
R03			
R04	トイレ洋式化工事	23,234	校舎、屋体
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		31,734	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,793	1,658	1,773	
運用コスト	6,874	10,609	9,490	
修繕コスト	1,423	790	1,883	
その他	275	307	204	
(合計)	10,365	13,364	13,350	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
生徒数	453	452	477	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和 5年3月20日

【個別票】

所管課

教育委員会学校教育課

1 施設の概要

施設名称	大館市立北陽中学校	施設面積	5,272.85 m ²
所在地	大館市 釈迦内字長者森1番地	建設年	昭和 58 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 耐用年数まで15年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状中学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数に10年程で達することから、老朽化への対応が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、中学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋上防水工事	9,900	
R01			
R02			
R03			
R04			
R05	地下タンクFRPライニング工事	6,875	
R06	トイレ洋式化工事	13,272	校舎
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		30,047	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	3,280	3,114	3,387	
運用コスト	3,213	4,735	5,284	
修繕コスト	229	159	380	
その他	95	166	98	
(合計)	6,817	8,174	9,149	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
生徒数	166	168	161	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立東中学校	施設面積	7,426.44 m ²
所在地	大館市 有浦五丁目2番8号	建設年	昭和 46 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎・体育館耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ハード面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数に到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状中学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

建築後47年が経過していることから、建物の躯体や設備等の老朽化への対応が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、中学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01	プール外周ほか改修工事	8,891	
R02			
R03			
R04			
R05	トイレ洋式化工事	22,397	校舎、屋体
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		31,288	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	2,270	2,310	2,320	
運用コスト	3,898	6,637	3,983	
修繕コスト	841	552	276	
その他	180	234	103	
(合計)	7,189	9,733	6,682	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
生徒数	408	387	362	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立下川沿中学校	施設面積	3,814.78 m ²
所在地	大館市 川口字隼人岱108番地69	建設年	昭和 59 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数まで15年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状中学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

建築後34年が経過していることから、建物の躯体や設備等の経年劣化に対する対応や突発的な修繕等が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、中学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01	校舎棟屋上防水改修工事	24,595	
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		24,595	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	2,693	2,548	2,794	
運用コスト	2,247	3,252	3,188	
修繕コスト	460	402	83	
その他	74	220	45	
(合計)	5,474	6,422	6,110	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
生徒数	63	60	65	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立南中学校	施設面積	3,698.63 m ²
所在地	大館市 二井田字小石台20番地	建設年	昭和 41 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎・体育館耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 耐用年数を経過しているが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状中学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数を経過していることから、老朽化への対応が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、中学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,006	1,279	931	
運用コスト	3,281	3,829	3,374	
修繕コスト	358	286	590	
その他	242	667	643	
(合計)	4,887	6,061	5,538	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
生徒数	69	61	67	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立成章中学校	施設面積	3,322.69 m ²
所在地	大館市 猿間字中谷地10番地	建設年	昭和 54 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎耐震化済		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数まで10年程で到達することになるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状中学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、耐用年数に10年程で達することから、老朽化への対応が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、中学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	974	791	864	
運用コスト	2,501	3,907	6,412	
修繕コスト	424	401	230	
その他	73	152	79	
(合計)	3,972	5,251	7,585	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
生徒数	49	48	51	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市立田代中学校	施設面積	6,919.28 m ²
所在地	大館市 岩瀬字下軽石野2番地2	建設年	昭和 44 年 (耐用年数 47 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 4 階ほか
特記事項	避難所指定 (二次避難所)、校舎・体育館耐震化済、プール施設		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ハード面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数を経過しているが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後 15 年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状中学校として必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後 15 年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を超過していることから、建物の躯体や設備等の老朽化への対応が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、中学校として適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07	トイレ洋式化工事	17,420	校舎
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		17,420	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,365	3,306	1,343	
運用コスト	4,110	6,320	6,052	
修繕コスト	631	543	207	
その他	140	201	165	
(合計)	6,246	10,370	7,767	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
生徒数	116	127	128	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市城西地区学校給食センター	施設面積	519.00 m ²
所在地	大館市 北神明町10番2号	建設年	平成 14 年 (耐用年数 31 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造 2 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ハード面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務を民間企業に委託し、城西小、一中への給食を提供している。 ・耐用年数まで15年程であるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。 		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状給食センターとして必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、建築後15年以上経過していることから、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、学校給食センターとして適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	ボイラー更新工事	11,600	
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		11,600	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	466	700	1,663	
運用コスト	7,024	4,911	7,610	
修繕コスト	728	248	1,044	
その他	113	92	51	
(合計)	8,331	5,951	10,368	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
給食提供対象者数	764	826	848	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市北地区学校給食センター	施設面積	1,371.87 m ²
所在地	大館市 釈迦内字上大留60番地	建設年	平成 20 年 (耐用年数 31 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造 2 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務を民間企業に委託し、有浦小、釈迦内小、花岡小、矢立小、北陽中、東中への給食を提供している。 ・建設後9年であるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。 		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状給食センターとして必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、学校給食センターとして適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,209	6,887	6,369	
運用コスト	14,014	14,083	13,507	
修繕コスト	331	3,857	819	
その他	99	183	115	
(合計)	15,653	25,010	20,810	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
給食提供対象者数	1,466	1,569	1,507	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市西地区学校給食センター	施設面積	448.89 m ²
所在地	大館市 川口字隼人岱108番地69	建設年	平成 9 年 (耐用年数 31 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務を民間企業に委託し、川口小、南小、下川沿中、南中への給食を提供している。 ・耐用年数まで10年程であるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。 		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状給食センターとして必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、建築後20年程経過していることから、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、学校給食センターとして適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	551	3,382	3,144	
運用コスト	4,461	3,583	2,508	
修繕コスト	164	256	448	
その他	104	93	93	
(合計)	5,280	7,314	6,193	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
給食提供対象者数	392	428	423	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市成章学校給食センター	施設面積	278.64 m ²
所在地	大館市 十二所字大平190番地	建設年	平成 7 年 (耐用年数 31 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務を民間企業に委託し、成章小、上川沿小、成章中への給食を実施している。 ・耐用年数まで10年未満であるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。 		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状給食センターとして必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、建築後20年以上経過していることから、老朽化への対策が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、学校給食センターとして適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,627	2,906	1,803	
運用コスト	1,112	526	6,599	
修繕コスト	754	66	109	
その他	23	21	21	
(合計)	3,516	3,519	8,532	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
給食提供対象者数	297	333	330	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市比内学校給食センター	施設面積	954.35 m ²
所在地	大館市比内町扇田字新館野中岱12番地	建設年	平成 15 年 (耐用年数 25 年)
複合施設名		構造・階数	軽量鉄骨造 2 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ハード面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務を民間企業に委託し、扇田小、西館小、東館小、比内中への給食を提供している。 ・耐用年数まで10年程であるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。 		

集約・複合化の検討について

平成30年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状給食センターとして必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後15年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、建築後10年以上経過していることから、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、学校給食センターとして適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,210	1,789	1,643	
運用コスト	9,128	872	10,828	
修繕コスト	217	4,179	131	
その他	49	84	61	
(合計)	10,604	6,924	12,663	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
給食提供対象者数	597	645	618	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	教育委員会学校教育課
-----	------------

1 施設の概要

施設名称	大館市田代学校給食センター	施設面積	658.28 m ²
所在地	大館市 岩瀬字下軽石野2番地1	建設年	平成 17 年 (耐用年数 31 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造 2 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務を民間に委託し、早口小、山瀬小、田代中への給食を提供している。 ・建設後 1 2 年であるが、今後策定される「学校教育環境適正化計画」により、集約化等を検討し、現状の機能維持のための修繕等を実施。 		

集約・複合化の検討について

平成 3 0 年度末までに「学校教育環境適正化検討委員会」による「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討。

公民連携の検討について

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後 1 5 年以上使用 】

「学校教育環境適正化計画」を策定し、集約化等を検討するが、現状給食センターとして必要不可欠な施設であることや、建物等の状況から今後 1 5 年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、建築後 1 0 年以上経過していることから、経年劣化や突発的な修繕等が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕等を行いながら、学校給食センターとして適正な維持管理を図る。
- ・予防保全型管理と計画的な修繕による建物の長期利用化に努める。
- ・大規模な改修・修繕等の長期的な実施計画については、今後検討される「学校教育環境適正化計画」の策定後に計画する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	968	1,207	1,331	
運用コスト	5,436	4,973	5,208	
修繕コスト	499	173	259	
その他	41	80	39	
(合計)	6,944	6,433	6,837	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
給食提供対象者数	361	405	390	